



株式会社 ウォールナット

非接触方式レーダを用いた 次世代高速走行型道路トンネル背面計測装置

近年、中央自動車道笹子トンネル崩落事故の様な惨事を未然に防ぐ為、既設トンネルにおける維持管理の意識は社会的にも高まっています。現況確認できる道路トンネルの調査・診断手法として電磁波レーダを用いた覆工コンクリートの厚さや、背面状況(空洞有無など)調査が行われていますが、その特性上レーダを発するアンテナ本体を覆工コンクリート表面に当てる接触方式が用いられてきました。施設上部を計測する為、この方式では高所作業車を活用した人力での作業となる事、交通規制が必要となり多大な労力や費用、交通渋滞など第三者への影響も発生するなど、決して効率的とは言えませんでした。そこで規制無しで計測できる技術を確立する事で新たなサービスが提供できるという考えのもと、非接触方式による電磁波レーダ調査手法の開発に至りました。速やかに、且つ安全に調査診断を行える事から約7割弱の工期短縮と安全性向上を実現しています。これにより管理者や発注者側には安心と発注費用の削減に



■電磁波レーダ装置

■規制を伴わない高速走行による電磁波レーダ計測状況

つながり、新たな付加価値を提供する事ができるようになりました。また、規制を行わない事は交通渋滞を緩和させるといった社会的効果が見込め、更に排気ガスの増加等による環境悪化原因の削減にも貢献しています。『社会生活の安全を守る』という経営理念のもと、その一助となるべく非接触方式による次世代型レーダを用いた計測サービスを継続的に提供して参りたいと思います。

会社概要

代表取締役	齋藤 豊		
本社所在地	〒190-0002 東京都立川市幸町1-19-13		
業務内容	トンネルや道路、電力施設など社会インフラを対象とした調査・診断・計測サービス 調査機器の研究開発、技術提供、機器販売		
資本金	1,000万円	沿革	創業 平成5年
主な販売・受注先	東京都、(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所、他官公庁 電力会社、建設コンサルタント及びゼネコン各社		
従業員数	正社員:21名(パート・アルバイト:2名) 平均年齢:33歳		

連絡先

担当者	営業部 課長 高岩 庸博		
URL	http://www.walnut.co.jp		
E-mail	sale@walnut.co.jp		
TEL	042-537-3838	FAX	042-537-3820